



平成22年7月26日

各 位

会社名 株式会社東京機械製作所
代表者名 代表取締役社長 芝 則之
(コード番号：6335 東証第1部)
問合せ先 総務部長兼法務室長 根本 伸
(TEL 03-3451-8154)

「玉川製造所」跡地再開発計画に係る 条例環境影響評価方法書の提出について

当社は、現在操業中の「玉川製造所」(川崎市中原区)移転完了後の跡地の再開発計画といたしまして、かねてより商業施設と高層住宅を中心とする複合開発計画を進めてまいりましたが、このたび本計画の概要が固まり、川崎市に対し本日条例環境影響評価方法書を提出いたしましたのでお知らせいたします。

1. 背景

当社は昭和12年以来「武蔵小杉」の地で工場(現在は玉川製造所)を操業しており、当地区の発展にも微力ではありますが、貢献させていただいたと考えております。しかしながら、周辺の再開発による急激な環境変化に伴い、千葉県木更津市かずさアカデミアパークへの移転を決断いたしました。工場移転後につきましても、引続き当地区の発展に貢献するため、川崎市の「広域拠点」としてふさわしく、かつ必要とされる開発を行い、当地区の活性化と拠点性向上に取り組んでいきたいと考えております。

なお、本計画の整備方針、計画概要は以下の通りでございます。

2. 本計画の整備方針

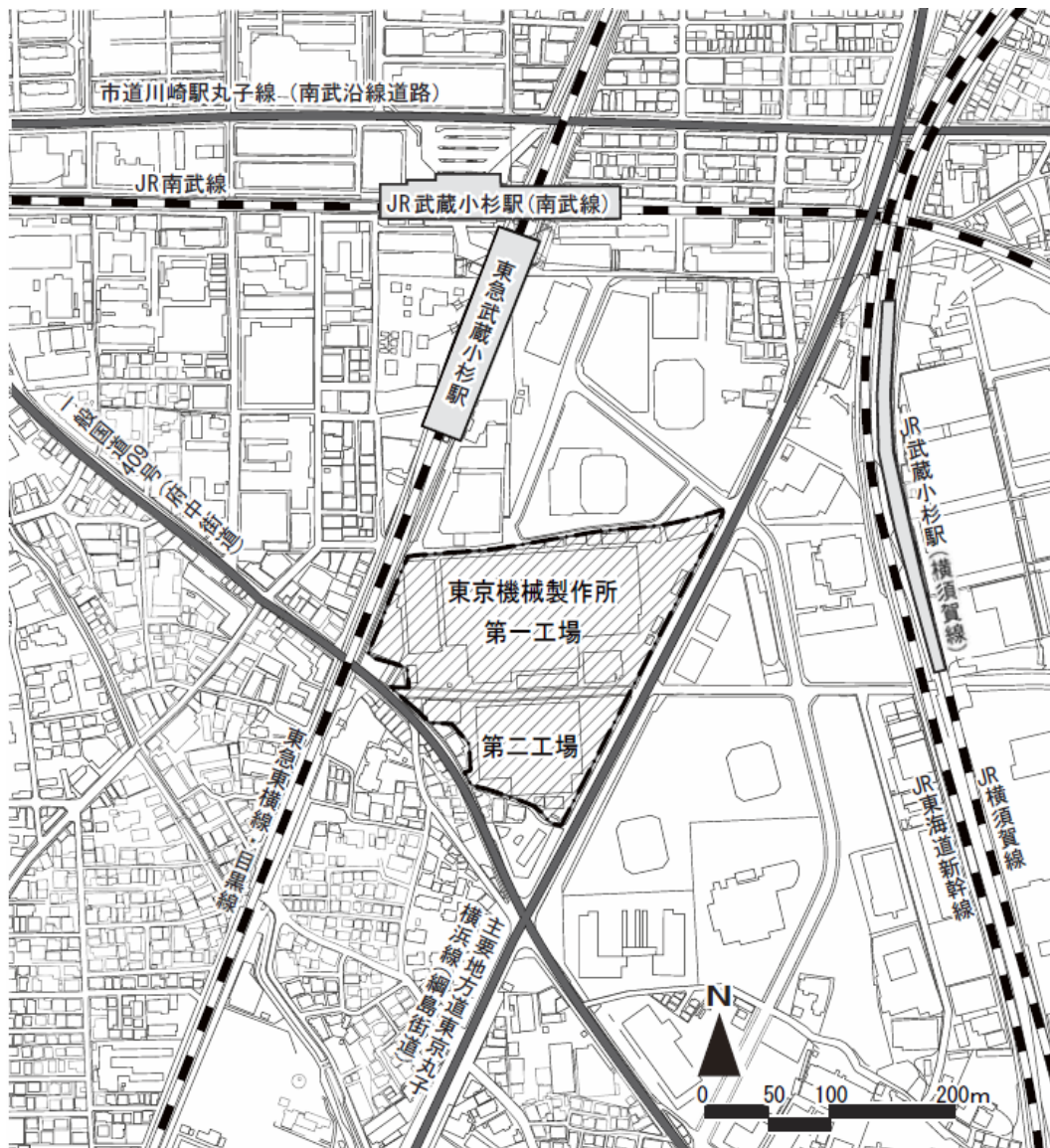
本計画地の存する「武蔵小杉」地区は川崎市の上位計画で川崎、新百合ヶ丘と並ぶ「広域拠点」として位置付けられております。本計画では上位計画及び本計画地の立地特性等踏まえ、地区計画(再開発等促進区)を活用することを前提に、以下を整備方針といたします。

1. 広域拠点としての都市機能集積と土地の計画的高度利用
2. 幹線道路を補完し地区の骨格となる道路の整備
3. 回遊性の高い安全で快適な歩行者空間の形成
4. うるおいのある都市環境の形成
5. にぎわいのある街なみの形成

3. 計画概要

	第一工場跡地	第二工場跡地
所在	川崎市中原区新丸子東三丁目 1 1 3 5 番地ほか	
主要用途	商業	住宅及び商業
敷地面積	約 25,060 m ²	約 8,670 m ²
延床面積	約 110,000 m ²	約 104,000 m ²
階数	地上 5 階地下 2 階	地上 57 階地下 3 階
高さ	約 30m	約 190m
今後の予定	平成 22 年夏 条例環境影響評価手続き開始	
	平成 23 年春 都市計画手続き開始	
	平成 24 年度 新築工事着工 平成 26 年度 竣工	平成 24 年度 新築工事着工 平成 27 年度 竣工

4. 計画地位置図



以上